

# 1月・2月も役立つ講座がいろいろ!

## 子育てリフレッシュサロン

◆1月8日(木) 10:00~11:30

場所: 参画センター学習研修室3

参加費: 無料

託児: あり、無料(1週間前までに要予約)

## シングルマザーの会

◆1月12日(月・祝) 13:30~15:00

場所: 参画センター学習研修室3

参加費: 無料

託児: あり、無料(1週間前までに要予約)

## 摂食障がい家族の会

◆1月17日(土) 13:30~15:00

場所: 参画センター相談室

参加費: 無料

## 男女共同参画のキーワード

(「広げよう!女性の防災ネットワーク」セッションを開催)

国民の防災意識の向上のため 2016 年から開催している「ぼうさいこくたい」。第 10 回目となる今年は、2004 年に中越地震を経験した新潟県で、「語り合い、支え合い～新潟から オールジャパンで進める防災・減災～」をテーマに9月6日(土)と7日(日)、朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター(一部オンライン)で開催されました。男女共同参画局として「ぼうさいこくたい」への参加が5回目となる今回は、女性防災リーダーのネットワーク構築をテーマに、女性たちが地域や組織の枠を越えて「つながる」ことを目的としたセッションを開催しました。全国各地から約100名が参加し、会場は熱気に包まれました。

情報提供①「災害時女性支援プロジェクト」による取組 根上昌子先生(ねがみみらいクリニック院長、令和7年女性のチャレンジ賞特別部門賞受賞)

根上先生は、令和6年能登半島地震直後から同僚の医師や女性支援に詳しい専門家とともに、これまでの災害で発生した性暴力・性犯罪に関する問題や対応策について情報を得て、七尾市にあるご自身のクリニックを開放して、

被災した女性や子どもの居場所づくりや必要な物資の提供を行われたほか、避難所においてチラシや笛付き防犯ブザーの配布による性暴力被害防止の啓発活動に尽力されました。また、民間団体や有識者等と「性暴力女性被害者支援プロジェクトチーム」を立ち上げ、被災地で性暴力を受けた際の被害者相談や緊急避妊薬をデリバリーする体制をつくり、女性の安心・安全のために現在も活動を続けています。\*以下続く

詳細は  
こちらから→



(資料:内閣府 共同参画12月号)

## 市民企画講座VIII

「第7回 香川吃音のつどい」  
～吃音支援について考えよう～

◆2月1日(日) 13:00~16:00

講師: 川村立さん(認定言語聴覚士)

内容: 幼児期から成人期の支援～吃音で悩む人に寄り添える言語聴覚士でありたい～ 他体験談あり

参加費: 無料 定員: 先着50人程

場所: 参画センター学習研修室1・2・3

対象: 吃音当事者・家族・支援者・関心のある人

託児: あり、無料、要予約(1/23まで)

企画運営・お申込み・お問合せ先:



知ってる?

ワーク構築をテーマに、女性たちが地域や組織の枠を越えて「つながる」ことを目的としたセッションを開催しました。全国各地から約100名が参加し、会場は熱気に包まれました。

情報提供②「災害時女性支援プロジェクト」による取組 根上昌子先生(ねがみみらいクリニック院長、令和7年女性のチャレンジ賞特別部門賞受賞)

根上先生は、令和6年能登半島地震直後から同僚の医師や女性支援に詳しい専門家とともに、これまでの災害で発生した性暴力・性犯罪に関する問題や対応策について情報を得て、七尾市にあるご自身のクリニックを開放して、

被災した女性や子どもの居場所づくりや必要な物資の提供を行われたほか、避難所においてチラシや笛付き防犯ブザーの配布による性暴力被害防止の啓発活動に尽力されました。また、民間団体や有識者等と「性暴力女性被害者支援プロジェクトチーム」を立ち上げ、被災地で性暴力を受けた際の被害者相談や緊急避妊薬をデリバリーする体制をつくり、女性の安心・安全のために現在も活動を続けています。\*以下続く

「個人的なことは政治的である」という考え方、自分の困り事を社会の困り事として捉えて、みんなで解決する。自分と同じように思っている人は実は多い。声を上げれば社会が変わる。聞き取った声の責任を果たす事が大切。などのお話を伺いました。

## 11・12月の行事から

### 市民フェスティバルの映画・ワークショップ・パネル展

「日々の保育で場面によっての対応の仕方や考え方を改めて再認識できたり発見したり、とてもいい勉強になりました」

「教育と政治一戦後 80 年の奸計を問う」(女性会議高松支部)「とてもわかりやすかった。教育がいかに大事か改めて考えました」

(パネル展の感想)「選択的夫婦同姓をねがう会のパネルを見て、理不尽な理由で反対されているのは放置できない問題だと思いました。自分の姓に愛着を持っているので、制度が実現して欲しいです」等。

15~30

市民フェスティバルの映画・ワークショップ・パネル展  
パネル展が11月15日~30日まで開催されました。  
(ワークショップの感想) \*一部のみ記載

★「東北大震災から 14 年 あの大地震から生まれ変わったまちは今!!」(高松市女性連絡協議会)「今までの人生も含めて心の深い所も垣間見せてもらえて良かった」

★「紙芝居・朗読・落語～見て!聴いて!やってみましょう!～」(まいまい塾ネットワーキング)「言葉を発する事や日常での変化を楽しむ事を参加することで気づいた」

★「親・教師のための LD・ADHD・アスペルガー対応講演会～具体的にロールで解説」(香川 LD 周辺児(者)親の会)、



15~16

### 市民フェスティバル お笑いライブ・体験ブース・出張美術館

場所: 1F 多目的室・参画センター全体

(お笑いライブの感想)

「お笑いライブに初めて参加しましたが、とても面白かったです。地元でたくさんの方が活躍されていて嬉しいです」

(相談&体験ブース) お笑いライブ(二者面談) ↓

「楽しい企画を有難うございました。もっと多くの人に知ってもらいたい」

(出張美術館) 「知識もつき、何枚か実際に見せてもらえて、お話を楽しかった」等。



12/6

### 市民企画講座 親子力アップ応援団ができたこと、これから!

場所: 学習研修室2 参加者: 13 人

司会: 堀尾光宣 パネラー: 3 人

企画運営: 親子力アップ応援団(代表 堀尾)  
(参加者の感想)「ここまで踏み込んだお話を聴いたのは初めてだったので、とても勉強になりました。できる事や好な事に目を向けた支援の在り方を学ばせて頂きました」「お話を聴きながら、自分の今までこれからを思い、胸がいっぱいになりました。苦しい想いを聞かせて頂き感謝です」



## トピックス

### <市民フェスティバル講演会>

「ジェンダー視点でひらく、新しい政治とは  
～地域の未来をかえよう～」

講師: 三浦まりさん(上智大学法学部教授)

日時: 11月15日(土) 13:45~15:30

香川県のジェンダーギャップについて、強みと課題を分析されていた。政治分野が全国2位であるが、課題はまだまだある。女性リーダーを増やすのは「通過点」で、目指すのは「男性政治」からの脱却。女性議員が増えて、地方議会が変わった例も上げられた。クオーター、パリテ(性別均等、男女同数)という発想の転換もあり。

「個人的なことは政治的である」という考え方、自分の困り事を社会の困り事として捉えて、みんなで解決する。自分と同じように思っている人は実は多い。声を上げれば社会が変わる。聞き取った声の責任を果たす事が大切。などのお話を伺いました。

## 市民フェスティバル講演会の報告

### (参加者の感想)

「三浦先生のお話はとても面白かったです。男女、家族、(夫と妻)、議員の交代、政治のあり方など大きく流れが変わる時が来ていると思います」

「政治に関わることの大切さを改めて感じました。声を上げれば社会が変わる。私も同感です。地道に行動をしようと思います」

「個人的な生活が政治的であり、社会を変えることが個人的なことにもなる、という話が印象に残りました」

「話が分かりやすく、きっちりとよくまとめられていました。こういう企画をどんどんお願いします」

「非常に明快で問題点をびしっと述べてくれた。男性構造の社会の中にいることに無自覚でなく、気づき変えていきたい」「歯切れの良い盛りだくさんの内容で、微に細に多方面からのお話をありがとうございました」など多数。

